

対象校No.

注4

学校コード F114310104678

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

フェリス女学院大学 グローバル教養学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

学校法人 フェリス女学院  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	大学事務部 学長室
職名・氏名	シツチョウクチイ サトシ 室長・口井 智史
電話番号	045-812-8935 (内線: 162)
(夜間)	045-812-8935 (内線: 162)
e-mail	p-office@ferris.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

グローバル教養学部

＜心理コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 フェリス女学院

## (2) 大学名

フェリス女学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒245-8650  
神奈川県横浜市泉区緑園4丁目5番地3

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キトク タダマサ) 亀徳 忠正 (平成30年10月25日)		
学長	(コヒヤマ ルイ) 小檜山 ルイ (令和6年4月1日)		
学部長	(ウメザキ トオル) 梅崎 透 (令和7年4月1日)		
学科長等	(オガヤ チホ) 小ヶ谷 千穂 (令和7年4月1日)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
グローバル教養学部 心理コミュニケーション学科 学士(心理コミュニケーション)	文学関係	4年	180人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	720人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	-	0.91倍	-倍		
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	374 [5]				春季入学以外の入学時期と入学定員内訳
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	350 [5]				
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	342 [5]				
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	165 [5]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.91				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 5 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 5 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	165 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{165} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数					基幹教員等の配置					の講義を履修する手続		
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手					
全学教養教育	共通科目 語学科目	スペイン語Ⅳs (理解)	2後	1											2	
		スペイン語Ⅳs (表現)	2後	1											1	
		スペイン語Ⅱi (文法)	1後	3											2	
		スペイン語Ⅱi (理解)	1後	1											1	
		スペイン語Ⅱi (表現)	1後	1											1	
		スペイン語Ⅱi (総合)	1後	1											1	
		スペイン語Ⅲi (文法)	2前	2											2	
		スペイン語Ⅲi (理解)	2前	1											1	
		スペイン語Ⅲi (表現)	2前	1											1	
		スペイン語Ⅲi (総合)	2前	1											1	
		スペイン語Ⅳi (文法)	2後	2											2	
		スペイン語Ⅳi (理解)	2後	1											1	
		スペイン語Ⅳi (表現)	2後	1											1	
		スペイン語Ⅳi (総合)	2後	1											1	
		スペイン語Ⅴi (理解)	3・4前	1											1	
		スペイン語Ⅴi (表現)	3・4前	1											1	
		スペイン語Ⅴi (総合)	3・4前	1											1	
		スペイン語Ⅵi (理解)	3・4後	1											1	
		スペイン語Ⅵi (表現)	3・4後	1											1	
		スペイン語Ⅵi (総合)	3・4後	1											1	
		海外語学実習 (スペイン語)	1・2・3・4前・休	2												1
		中国語Ⅰ (入門)	1前	1												8
		中国語Ⅱs (文法)	1後	3												3
		中国語Ⅱs (理解)	1後	1												2
		中国語Ⅱs (表現)	1後	1												1
		中国語Ⅲs (文法)	2前	1												2
		中国語Ⅲs (理解)	2前	1												1
		中国語Ⅲs (表現)	2前	1												1
		中国語Ⅳs (文法)	2後	1												1
		中国語Ⅳs (理解)	2後	1												2
		中国語Ⅳs (表現)	2後	1												2
		中国語Ⅱi (文法)	1後	3												3
中国語Ⅱi (理解)	1後	1												1		
中国語Ⅱi (表現)	1後	1												1		
中国語Ⅱi (総合)	1後	1												1		
中国語Ⅲi (文法)	2前	2												2		
中国語Ⅲi (理解)	2前	1												1		
中国語Ⅲi (表現)	2前	1												1		
中国語Ⅲi (総合)	2前	1												1		
中国語Ⅳi (文法)	2後	2												2		
中国語Ⅳi (理解)	2後	1												1		
中国語Ⅳi (表現)	2後	1												1		
中国語Ⅳi (総合)	2後	1												1		
中国語Ⅴi (理解)	3・4前	1												1		
中国語Ⅴi (表現)	3・4前	1												1		
中国語Ⅴi (総合)	3・4前	1												1		
中国語Ⅵi (理解)	3・4後	1												1		
中国語Ⅵi (表現)	3・4後	1												1		
中国語Ⅵi (総合)	3・4後	1												1		
海外語学実習 (中国語)	1・2・3・4前・休	2												1		
韓国語Ⅰ (入門)	1前	1												8		
韓国語Ⅱs (文法)	1後	2												2		
韓国語Ⅱs (理解)	1後	1												2		
韓国語Ⅱs (表現)	1後	1												1		
韓国語Ⅲs (文法)	2前	1												2		
韓国語Ⅲs (理解)	2前	1												2		
韓国語Ⅲs (表現)	2前	1												1		
韓国語Ⅳs (文法)	2後	3												3		
韓国語Ⅳs (理解)	2後	1												2		
韓国語Ⅳs (表現)	2後	1												1		
韓国語Ⅱi (文法)	1後	3												2		
韓国語Ⅱi (理解)	1後	1												1		
韓国語Ⅱi (表現)	1後	1												1		
韓国語Ⅱi (総合)	1後	1												1		
韓国語Ⅲi (文法)	2前	2												1		
韓国語Ⅲi (理解)	2前	1												1		
韓国語Ⅲi (表現)	2前	1												1		
韓国語Ⅲi (総合)	2前	1												1		
韓国語Ⅳi (文法)	2後	2												2		
韓国語Ⅳi (理解)	2後	1												1		
韓国語Ⅳi (表現)	2後	1												1		
韓国語Ⅳi (総合)	2後	1												1		
韓国語Ⅴi (理解)	3・4前	1												1		
韓国語Ⅴi (表現)	3・4前	1												1		
韓国語Ⅴi (総合)	3・4前	1												1		
韓国語Ⅵi (理解)	3・4後	1												1		
韓国語Ⅵi (表現)	3・4後	1												1		
韓国語Ⅵi (総合)	3・4後	1												1		
海外語学実習 (韓国語)	1・2・3・4前・休	2												1		
イタリア語Ⅰ (基礎)	1・2・3・4前	1												2		
イタリア語Ⅱ (文法)	1・2・3・4後	1												1		
イタリア語Ⅱ (理解)	1・2・3・4後	1												1		
イタリア語Ⅲ (理解)	2・3・4前	1												1		
イタリア語Ⅲ (表現)	2・3・4前	1												1		
イタリア語Ⅳ (理解)	2・3・4後	1												1		
イタリア語Ⅳ (表現)	2・3・4後	1												1		
ラテン語Ⅰ (文法)	1・2・3・4前	1												1		
ラテン語Ⅱ (文法)	1・2・3・4後	1												1		
ラテン語Ⅲ (読む)	2・3・4前	1												1		
ラテン語Ⅳ (読む)	2・3・4後	1												1		
古典ギリシア語Ⅰ (文法)	1・2・3・4前	1												1		
古典ギリシア語Ⅱ (文法)	1・2・3・4後	1												1		
古典ギリシア語Ⅲ (読む)	2・3・4前	1												1		
スペイン語Ⅳs (理解)	2後	1												2		
スペイン語Ⅳs (表現)	2後	1												1		
スペイン語Ⅱi (文法)	1後	3												2		
スペイン語Ⅱi (理解)	1後	1												1		
スペイン語Ⅱi (表現)	1後	1												1		
スペイン語Ⅱi (総合)	1後	1												1		
スペイン語Ⅲi (文法)	2前	2												2		
スペイン語Ⅲi (理解)	2前	1												1		
スペイン語Ⅲi (表現)	2前	1												1		
スペイン語Ⅲi (総合)	2前	1												1		
スペイン語Ⅳi (文法)	2後	2												2		
スペイン語Ⅳi (理解)	2後	1												1		
スペイン語Ⅳi (表現)	2後	1												1		
スペイン語Ⅳi (総合)	2後	1												1		
スペイン語Ⅴi (理解)	3・4前	1												1		
スペイン語Ⅴi (表現)	3・4前	1												1		
スペイン語Ⅴi (総合)	3・4前	1												1		
スペイン語Ⅵi (理解)	3・4後	1												1		
スペイン語Ⅵi (表現)	3・4後	1												1		
スペイン語Ⅵi (総合)	3・4後	1												1		
海外語学実習 (スペイン語)	1・2・3・4前・休	2												1		
中国語Ⅰ (入門)	1前	1												7		
中国語Ⅱs (文法)	1後	3												3		
中国語Ⅱs (理解)	1後	1												2		
中国語Ⅱs (表現)	1後	1												1		
中国語Ⅲs (文法)	2前	1												2		
中国語Ⅲs (理解)	2前	1												1		
中国語Ⅲs (表現)	2前	1												1		
中国語Ⅳs (文法)	2後	1												1		
中国語Ⅳs (理解)	2後	1												2		
中国語Ⅳs (表現)	2後	1												2		
中国語Ⅱi (文法)	1後	3														



科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置				の専任教員(前年対比)	
				必修	選択	自由	合計	教員	准教員	講師	助教		
心理コミュニケーション学専攻 学術専門科目	出版編集制作	2・3・4前			2							1	
	編集デザインスキル	2・3・4後			2							1	
	インターネットメディア論	1・2・3前			2			1					
	インターネットセキュリティ	1・2・3前			2							1	
	テキストマイニング	2・3前			2							1	
	ゲーム分析	2・3後			2							1	
	Internet of Things	2・3後			2			1					
	プログラミング演習	2・3後			2			1				1	
	ネットアプリ制作演習	2・3後			2			1					
	メディア論	1・2・3前			2							1	
	広告とマーケティング	1・2・3後			2							1	
	音楽ジャーナリズム	2・3後			2		1						
	アニメ・ゲーム音楽の製作技法	2・3前			2			1					
	アート・マネージメント	2・3後			2			1					
	Digital Fabrication Lab.	2・3後			2			1					
	コミックと小説の読解構造分析	2・3前			2			1					
	英語で学ぶ映画	2・3・4後			2			1					
	小計(31科目)	-	-	0	62	0	1	4	0				7
	ジェンダーと多文化共生社会	2・3・4後		○	2		2						
	セクシュアリティと社会	2・3・4後		○	2		1	1					
	比較支援論	2・3・4後		○	2		1						
	多文化社会における社会福祉	2・3・4後			2								1
	異文化コミュニケーションの理論と実践	2・3・4前			2								1
	エスニックマインリティと共生社会	2・3・4前			2								2
共生社会と宗教	2・3・4後			2								1	
英語で読む世界の「移民問題」	2・3・4前			2		1							
ことばとフィールド	2・3・4前・後			4								4	
共生のフィールドワーク	1・2・3・4前		○	2		1							
生活支援論	2・3・4後			2			1						
ケースワーク基礎論	2・3・4前			2								1	
共生コミュニケーション実践論	2・3・4前			2			1						
多文化教育方法論	2・3・4後			2			1						
紛争解決コミュニケーション	2・3・4後			2								1	
聴覚障害の理解と手話の技法	2・3・4前			2								1	
コミュニティ通訳論(基礎)	2・3・4後			2			1						
コミュニティ通訳論(実践)	2・3・4前			2								1	
コミュニティ通訳論(特論)	2・3・4前・後			2								4	
地域日本語教育実習	2・3・4前			2		1							
日本語教育研究の方法	2・3・4前			2								1	
日本語教育のコースデザイン	1・2・3・4後			2								1	
日本語教育の教材分析	2・3・4前			2								1	
日本語教育文法	1・2・3・4後			2								1	
日本語教授法	2・3・4前・後			2								2	
第二言語習得論(日本語)	1・2・3・4後			2								1	
音声教育法	2・3・4後			2								1	
日本語教育実習1	3・4前			2								2	
日本語教育実習2	3・4後			2								2	
小計(29科目)	-	-	0	60	0	4	2	0				20	
専門ゼミⅠA	3前		○	1		9	9						
専門ゼミⅠB	3後		○	1		9	9						
専門ゼミⅡA	4前		○	1		9	9						
専門ゼミⅡB	4後		○	1		9	9						
卒業論文・卒業制作	4通		○	6		9	9						
小計(5科目)	-	-	10	0	0	9	9	0				0	
教育原理	1・2・3・4前			2		1							
教育思想	1・2・3・4前			2								1	
教育社会学	1・2・3・4前・後			2								1	
教育心理学	1・2・3・4前・後			2			1						
小計(4科目)	-	-	0	8	0	1	1	0				2	
合計(411科目)	-	-	20	619	0	9	9	2				250	

卒業要件及び履修方法

全学教養教育から必修4単位、選択必修12単位、語学科目は履修コースにより選択必修10単位・16単位・22単位のいずれかを修得。  
 学術専門科目から必修17単位(うち「基礎ゼミ」は配当年次別に2単位を修得)、選択必修30単位を修得。  
 全学教養教育及び学術専門科目のなから、語学科目の履修コースに応じて選択51単位・45単位・39単位のいずれかを修得。  
 以上、合計124単位修得すること。  
 (履修登録の上限:24単位(1学期))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置				の専任教員(前年対比)	
				必修	選択	自由	合計	教員	准教員	講師	助教		
心理コミュニケーション学専攻 学術専門科目	出版編集制作	2・3・4前			2							1	
	編集デザインスキル	2・3・4後			2							1	
	インターネットメディア論	1・2・3前			2			1					
	インターネットセキュリティ	1・2・3前			2							1	
	テキストマイニング	2・3前			2							1	
	ゲーム分析	2・3後			2							1	
	Internet of Things	2・3後			2			1					
	プログラミング演習	2・3後			2			1				1	
	ネットアプリ制作演習	2・3後			2			1					
	メディア論	1・2・3前			2							1	
	広告とマーケティング	1・2・3後			2							1	
	音楽ジャーナリズム	2・3後			2		1						
	アニメ・ゲーム音楽の製作技法	2・3前			2			1					
	アート・マネージメント	2・3後			2			1					
	Digital Fabrication Lab.	2・3後・休			2			1					
	コミックと小説の読解構造分析	2・3前			2			1					
	英語で学ぶ映画	2・3・4後			2			1					
	小計(31科目)	-	-	0	62	0	1	4	0				7
	ジェンダーと多文化共生社会	2・3・4後		○	2		2						
	セクシュアリティと社会	2・3・4後		○	2		1	1					
	比較支援論	2・3・4後		○	2		1						
	多文化社会における社会福祉	2・3・4後			2								1
	異文化コミュニケーションの理論と実践	2・3・4前			2								1
	エスニックマインリティと共生社会	2・3・4前・休			2								1
共生社会と宗教	2・3・4後			2								1	
英語で読む世界の「移民問題」	2・3・4前			2		1							
ことばとフィールド	2・3・4前・後			4								4	
共生のフィールドワーク	1・2・3・4前		○	2		1							
生活支援論	2・3・4後			2			1						
ケースワーク基礎論	2・3・4前			2								1	
共生コミュニケーション実践論	2・3・4前			2			1						
多文化教育方法論	2・3・4後			2			1						
紛争解決コミュニケーション	2・3・4後			2								1	
聴覚障害の理解と手話の技法	2・3・4前			2								1	
コミュニティ通訳論(基礎)	2・3・4後			2			1						
コミュニティ通訳論(実践)	2・3・4前			2								1	
コミュニティ通訳論(特論)	2・3・4前・後			2								4	
地域日本語教育実習	2・3・4前			2								1	
日本語教育研究の方法	2・3・4前			2								1	
日本語教育のコースデザイン	1・2・3・4後			2								1	
日本語教育の教材分析	2・3・4前			2								1	
日本語教育文法	1・2・3・4後			2								1	
日本語教授法	2・3・4前・後			2								2	
第二言語習得論(日本語)	1・2・3・4後			2								1	
音声教育法	2・3・4後			2								1	
日本語教育実習1	3・4前			2								2	
日本語教育実習2	3・4後			2								2	
小計(29科目)	-	-	0	60	0	3	3	0				16	
専門ゼミⅠA	3前		○	1		8	10						
専門ゼミⅠB	3後		○	1		8	10						
専門ゼミⅡA	4前		○	1		8	10						
専門ゼミⅡB	4後		○	1		8	10						
卒業論文・卒業制作	4通		○	6		8	10						
小計(5科目)	-	-	10	0	0	8	10	0				0	
教育原理	1・2・3・4前・休			2								1	
教育思想	1・2・3・4前			2								1	
教育社会学	1・2・3・4前・後			2								1	
教育心理学	1・2・3・4前・後			2			1						
小計(4科目)	-	-	0	8	0	0	1	0				3	
合計(411科目)	-	-	20	619	0	8	10	2				246	

卒業要件及び履修方法

全学教養教育から必修4単位、選択必修12単位、語学科目は履修コースにより選択必修10単位・16単位・22単位のいずれかを修得。  
 学術専門科目から必修17単位(うち「基礎ゼミ」は配当年次別に2単位を修得)、選択必修30単位を修得。  
 全学教養教育及び学術専門科目のなから、語学科目の履修コースに応じて選択51単位・45単位・39単位のいずれかを修得。  
 以上、合計124単位修得すること。  
 (履修登録の上限:24単位(1学期))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
  - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時の」主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数、「認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を赤字としてください。  
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目は認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「※」、「臨地実務実習」による授業科目には「臨」、「連携実務演習」による授業科目には「連」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に「(新)」又は「(旧)」と追記してください。  
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・ 徳田信准教授退職により、「キリスト教学」の専任教員等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・ 小野(横山)美由記講師就任辞退により後任未定のため「ことばとデザイン」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・ 担当教員都合により、「ファッションデザイン論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員都合により、「メディア・デザイン」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・ 担当教員都合により、「コヒーレンティンク演習」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・ 担当者変更により、「今年の一冊」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・ 五十嵐圭子講師就任辞退により後任未定のため「生命科学と倫理」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・ 担当者変更により、「中国語Ⅰ(入門)」基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・ 朱力講師就任辞退により後任未定のため、「中国語Ⅳi(表現)」「中国語Ⅴi(表現)」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・ 伊藤祥雄講師、河野正講師就任辞退により後任未定のため、「中国語Ⅳi(文法)」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員0」に変更、「中国語Ⅲs(理解)」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・ 担当教員追加により、「PAアンサンブル2」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・ 担当者変更により、「PA舞台芸術3」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・ 志摩季々子講師就任辞退により、「PA舞台芸術2」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・ 田中(河上)里奈教授退職に伴う工藤理恵准教授への変更により、「学科の学び」「専門ゼミⅠA」「専門ゼミⅠB」「専門ゼミⅡA」「専門ゼミⅡB」「卒業論文・卒業制作」の基幹教員等の配置を「教授9」から「教授8」、「准教授9」から「准教授10」に変更、「導入ゼミ」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授3」から「准教授4」に変更、「日本語教育学概論」「地域日本語教育実習」「日本語教育研究の方法」「日本語教育実習1」「日本語教育実習2」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 権名(佐藤)渉子講師就任辞退により、「ことばと心理」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・ 公認心理師となるために必要な科目に係る開講科目確認書の指摘事項対応の理由により、「障害者(児)心理学」の名称を「障害者・障害児心理学」に変更。
- ・ 担当教員都合により、「Digital Fabrication Lab.」の配当年次を「2・3後」から「2・3後・休」に変更、「エスニックマイノリティと共生社会」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・ 藤田護講師就任辞退により後任未定のため「エスニックマイノリティと共生社会」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・ 中井彩香講師就任辞退により「感情・人格心理学」の後任未定のため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・ 高部(笹本)優子講師就任辞退により「紛争解決コミュニケーション」の後任未定のため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・ 教職課程認定に係る指摘事項対応の理由により、「教育原理」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「基幹教員以外の教員0」から「基幹教員以外の教員1」に変更。当該担当教員の変更により配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・休」に変更。
- ・ 夏目純講師就任辞退により、後任未定のため、「編集デザインスキル」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更

- (注)・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。  
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	400 科目	0 科目	411 科目	11 科目 [ 0 ]	400 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	411 科目 [ 0 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{411} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	81,699㎡	0㎡	0㎡	81,699㎡				
	その他	833㎡	0㎡	0㎡	833㎡				
	合 計	82,532㎡	0㎡	0㎡	82,532㎡				
(2) 校 舎	専 用	28,525㎡	0㎡	0㎡	28,525㎡				
	( 28,525㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 28,525㎡)					
(3) 教室・教員研究室		教 室	103室 105室	教員研究室	79室	教室数の変更理由：教室から応接スペース、会議室への用途変更のため。(7)			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 標 本	図書冊数・電子図書数の変更理由：電子図書の拡充を図ったため、それ以外の図書購入数が減少したことによる。電子ジャーナル数の変更（増加）理由：版元によるコンテンツ追加のため。学術雑誌（外国書）種数の変更（減少）理由：継続購読していた雑誌の休刊・廃刊が多数あったため。(7)		
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			点 点	
	冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点 点				
	グローバル教養学部	374,065 [110,937] (360,856 [110,186]) (364,758 [110,255])	1,803 [982] 1,330 [970] (1,653 [904]) (1,179 [892])	4,368 [769] 4,268 [795] (4,338 [766]) (4,238 [792])		11,235 [9,612] 8,461 [6,911] (10,830 [9,207]) (8,055 [6,505])		— ( — )	— ( — )
計	374,065 [110,937] (360,856 [110,186]) (364,758 [110,255])	1,950 [1,053] 1,330 [970] (1,653 [904]) (1,179 [892])	4,368 [769] 4,268 [795] (4,338 [766]) (4,238 [792])	11,235 [9,612] 8,461 [6,911] (10,830 [9,207]) (8,055 [6,505])	— ( — )	— ( — )			
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	0㎡		0㎡		5,249㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学の財政状況に鑑み、教員1人当たり研究費等は50千円削減、共同研究費は開設年度の募集を見送った。(7)
		教員1人当たり研究費等	411千円 461千円	461千円	図書購入費	47,474千円	47,474千円	47,474千円	
	共同研究費等	0円 1,200千円	1,200千円	設備購入費	1,150千円	1,150千円	1,150千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,396千円	1,196千円	1,196千円	1,196千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入、国庫補助金及び寄付金収入を充当する。						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	フェリス学院大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0		
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
グローバル教養学部	4	545	0	2180	-	0.86	-	-	令和7	-		
国際社会学科	4	195	0	780	学士(国際社会)	0.84	-	-	令和7	神奈川県横浜市泉区緑園4丁目5番地3		
心理コミュニケーション学科	4	180	0	720	学士(心理コミュニケーション)	0.91	-	-	令和7	同上		
文化表現学科	4	170	0	680	学士(文化表現)	0.82	-	-	令和7	神奈川県横浜市泉区緑園4丁目5番地3 神奈川県横浜市中区山手町37番地		
文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和40	神奈川県横浜市泉区緑園4丁目5番地3	令和7年度入学生より学生募集停止	
英語英米文学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和40	同上	同上	
日本語日文学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和40	同上	同上	
コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	平成16	同上	同上	
音楽学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成元	(1・2年次) 神奈川県横浜市泉区緑園4丁目5番地3	令和7年度入学生より学生募集停止	
音楽芸術学科	4	-	-	-	学士(音楽学)	-	-	-	平成元	(3・4年次) 神奈川県横浜市中区山手町37番地	同上	
演奏学科	4	-	-	-	学士(音楽学)	-	-	-	平成17		平成31年度入学生より学生募集停止	
国際交流学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成9	神奈川県横浜市泉区緑園4丁目5番地3	令和7年度入学生より学生募集停止	
国際交流学科	4	-	-	-	学士(国際交流学)	-	-	-	平成9	同上	同上	
大学全体	4	545	0	2180	-	-	-	-	-	-		

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあつては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開採用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<グローバル教養学部 心理コミュニケーション学科>

(1) ① 担当教員表

※個人情報が含まれるため、16～38ページは削除しています。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

【基幹教員】

- ・澤田佳世教授（基（主専））担当予定の「教育原理」の担当者変更（当該科目担当者として、令和7年4月河野誠哉講師就任）及び担当授業科目変更。（「今年の一冊」を新たに担当）。
- ・田中（河上）里奈教授（基（主専））就任辞退。後任として令和7年4月工藤理恵准教授（基（主専））が就任。
- ・工藤理恵講師（基（専他））就任辞退。後任として令和7年4月小畑美奈恵講師（基（専他））が就任。

【その他】

- ・谷（近藤）知子教授の担当授業科目変更。
- ・土屋広次郎（弘二郎）教授の担当授業科目変更。
- ・富樫剛教授の担当授業科目変更（「デザインと表現」を新たに担当）。
- ・由井哲哉教授の担当授業科目変更。
- ・次郎丸智希准教授の担当授業科目変更（「デザインと表現」を新たに担当）。
- ・徳田信准教授の職名変更（変更後は「講師」）及び担当授業科目変更。
- ・渡邊弘己准教授の職名変更（変更後は「講師」）及び担当授業科目変更。（「数学の基礎」を新たに担当）
- ・BRATTON, Theodore Alexander講師就任辞退。後任として令和7年4月SOMERVILLE Richard Jason講師就任。
- ・久保寺紀江講師就任辞退に伴い、Antonio CANIGLIA講師が令和7年4月に就任し、久保寺講師の科目を担当。
- ・五十嵐圭子講師就任辞退。後任未定。
- ・伊藤祥雄講師就任辞退。後任未定。
- ・梶谷彩子講師就任辞退。後任として令和7年4月伊藤由利子講師就任。
- ・磐村信哉講師の就任（予定）年月変更。
- ・志摩季々子講師就任辞退。後任として令和7年4月岩間美奈子講師、岸川（沖田）まや講師、東秀昭講師就任。「PA舞台芸術2」については後任未定（履修希望者がいなかったため、2025年度前期未開講）。
- ・中井彩香講師就任辞退。後任として令和8年4月大坪（松瀬）快講師就任予定。（「感情・人格心理学」については後任未定。）
- ・岡本年正講師就任辞退。後任として令和7年4月早川育講師就任。
- ・河野正講師就任辞退。後任として令和7年4月小野美里講師就任。（「中国語Ⅲs（理解）」「中国語Ⅳi（文法）」については後任未定。）
- ・小野（横山）美由紀講師就任辞退。後任未定。
- ・和寺悠佳講師就任辞退。後任として令和7年10月川口葉子講師就任予定。
- ・Hsiao-Wen (Paula) Shen（沈筱雯）講師就任辞退に伴い、神田裕子講師及び志水光子講師がHsiao-Wen (Paula) Shen（沈筱雯）講師の科目を担当。
- ・朱力講師就任辞退。後任として令和7年4月邱月講師就任、令和7年10月金鮮栄講師就任予定。（「中国語Ⅳi（表現）」「中国語Ⅴi（表現）」については後任未定。）
- ・斉藤みか講師（令和8年10月就任予定）辞退。後任として令和8年10月黒川茉莉講師就任予定。
- ・小谷由美講師の職名変更（「講師」から「教授」へ変更）。
- ・崔靖宜講師担当科目「中国語Ⅰ（入門）」の就任（予定）年月変更（令和7年4月→令和8年4月）に伴い、担当授業科目を一部変更。
- ・櫻田（西澤）はるか講師の担当授業科目変更（戸田（久保田）弥生講師担当予定の「PAアンサンブル2」を新たに担当）。
- ・澤村りり子講師就任辞退。後任として令和8年4月長塚織人講師就任予定。
- ・椎名（佐藤）涉子講師就任辞退。齋藤孝滋教授が椎名（佐藤）涉子講師の科目を担当。
- ・Jethro L. Kenney講師就任辞退。後任として令和7年4月Massoud Omar Serwor講師就任。
- ・竹島達也講師就任辞退に伴い、後任として令和7年4月志水光子講師就任。
- ・Lam Mei Yi, May講師担当予定の「英語Ⅲs（読む・書く）」「英語Ⅲs（聞く・話す）」の担当者変更（シンカマヤニー講師が当該科目を担当）及び担当授業科目変更。
- ・高嶋成豪講師就任辞退。後任として令和7年4月杉本美晴講師就任。
- ・Darlene R. Nomura講師の就任（予定）年月変更（令和7年4月→10月）に伴い、「英語Ⅰs（聞く・話す）」の担当者変更（宮田（清田）優子講師が当該科目を担当）及び担当授業科目一部変更。
- ・高部（笹本）優子講師就任辞退に伴い、新倉久乃講師の担当授業科目変更。（「プレゼンテーションの方法」を新たに担当。「紛争解決コミュニケーション」については後任未定。）
- ・戸田（久保田）弥生講師就任辞退に伴い、令和7年4月千葉純子講師就任。
- ・カリキュラムの調整に伴い、長大介講師及び松永博子講師の担当予定科目を入れ替え。
- ・野口普子講師担当予定科目変更。それに伴い、令和7年10月塚田花音講師就任予定。
- ・夏目純講師就任辞退。後任として令和7年10月橋本樹樹講師就任予定。
- ・兵頭昌講師就任辞退に伴い、担当科目「数学の基礎」を渡邊弘己講師が担当。
- ・李吟京講師就任辞退。後任として令和7年4月玄昭講師就任。
- ・藤原佐和子講師就任辞退。後任として令和7年4月広瀬由佳講師就任。
- ・藤田護講師就任辞退。後任未定。
- ・渡部基一講師の担当授業科目変更。（戸田（久保田）弥生講師担当予定の「PAアンサンブル1」「PAアンサンブル2」を新たに担当）

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査を受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります）

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
9	5	7
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者「基(主専)」及び「基(専)」の計(A')	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者「基(主専)」及び「基(専)」の計(B')	助手(B')
9	9	2	0	20	18	0	8	10	2	0	20	18	0
(8)	(10)	(2)	(0)	(20)	(18)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者「基(主専)」及び「基(専)」の計(C')	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者「基(主専)」及び「基(専)」の計(D')	助手(D')
8	10	2	0	20	18	0	8	10	2	0	20	18	0
[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。  
 ・現在(報告時)の状況には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・**現在(報告時)の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)**  
 ・現在(報告時)の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	3
歳	名	名

(注)「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{20} = 100\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{18}{18} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{20} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	田中（河上）里奈	R7.3	必修	学科の学び ※	①	R7.3 自己都合により退職（7）			
				必修	導入ゼミ	①				
				選択	日本語教育学概論	①				
				選択	地域日本語教育実習	①				
				選択	日本語教育研究の方法	①				
				選択	日本語教育実習1	①				
				選択	日本語教育実習2	①				
				必修	専門ゼミⅠA	①				
				必修	専門ゼミⅠB	①				
				必修	専門ゼミⅡA	①				
				必修	専門ゼミⅡB	①				
				必修	卒業論文・卒業制作	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
2										
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{20} = 5\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。  
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
---

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

2024年度中に後任補充を行い、担当予定の科目はすべて後任の基幹教員が担当することとした。したがって、学生の履修等に影響はないため周知は行っていない。

(注)・上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時  (令和6年)	<p>・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。</p> <p>【届出】 遵守事項</p>	<p>両校地で科目を担当する山手キャンパスの基幹教員4名は、曜日ごとに受講キャンパスを定めており、担当科目の開講キャンパス・対象学年・曜日・時間を考慮・調整し、学生の履修に支障が生じないように時間割編成を行っている。</p> <p>一日の中で両校地での履修ができるよう、キャンパスごとに授業開始時間はずらして設定しており、両キャンパス間のスクールバス（無料・移動時間約35分）を運行し、移動手段を確保している。</p> <p>山手キャンパスにおける諸業務は総務課（山手）が担っており、緑園キャンパスの教務課・学生課・キャリア支援課等の学生支援部署と連携して学生の対応を行っている。</p> <p>図書館、医務室などの主要な設備は両キャンパスに設置している。（7）</p>	<p>履行中</p> <p>引き続き、適切に履行していけるよう努める。（7）</p>

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <グローバル教養学部 心理コミュニケーション学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

「大学FD委員会規程」を根拠とし、FD活動を推進するため、大学FD委員会を設けている。

###### ○大学FD委員会規程

###### (趣旨)

第1条 この規程は、フェリス女学院大学（以下「本学」という。）におけるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動を推進するため、フェリス女学院大学規程（1984年12月11日制定）第37条の規定に基づき、大学FD委員会（以下「委員会」という。）の構成、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

###### (委員会の構成)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 各学部長、各研究科長
- (3) 全学教養教育機構長
- (4) 教務部長
- (5) 自己点検・評価委員会委員長
- (6) 教職課程委員会委員長
- (7) 英語教育運営委員会委員長
- (8) 初習外国語教育運営委員会委員長

(9) C L Aコア科目運営委員会委員長

(10) 留学生科目委員会委員長

(11) 日本語教員養成講座委員会委員長

(12) 文学部、音楽学部及び国際交流学部教務主任並びにグローバル教養学部各学科教務主任

(13) 大学事務部長

(14) 教務課長

(15) その他委員会が必要と認めた者

2 委員の任期は、前項第1号から第14号までに掲げる委員についてはその職に在任する期間、同項第15号に掲げる委員については1年とし、再任を妨げない。

(審議事項)

第3条 委員会は、本学のFDに関し、次に掲げる事項を審議するものとする。

(1) 教育の質的向上に向けた全学的な教育支援施策の企画・立案及びFDの推進に関する事項

(2) 学生による授業評価アンケートの企画・実施、アンケート結果の集計・分析・評価に関する事項

(3) FDに関連する情報収集及び学内の啓発活動に関する事項

(4) その他FDに関する重要事項及び必要と認められる事項

(運営)

第4条 委員会に委員長を置き、学長がこれに当たる。

2 委員会は、委員長が招集する。

3 委員会には副委員長を置き、教務部長がこれに当たる。

4 委員会には議長を置き、副委員長がこれに当たる。

5 委員会は、その構成員の過半数の出席をもって成立する。

(小委員会)

第5条 委員会は、各学部・研究科のFD活動を推進するため、各学部・研究科FD委員会を置く。

2 各学部・研究科FD委員会に関する事項は、別に定める。

(記録)

第6条 委員会の議事については、議事録を作成し、大学事務部学長室がこれを保管する。

(報告)

第7条 委員長は、委員会の協議の結果を大学評議会に報告するものとする。

(その他の事項)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が決定する。

(庶務)

第9条 委員会に関わる事務は、大学事務部学長室が行う。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、委員会の議を経て、大学評議会の承認を得て行うものとする。

(以下略)

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学FD委員会は、毎月第2水曜日に開催しており、令和6年度は11回開催した。

教員は16名で構成しており、会議の参加率は約9割であった。

#### c 委員会の審議事項等

上記「大学FD委員会規程」のとおり、以下(1)～(4)の審議事項を取り扱っている。

(1) 教育の質的向上に向けた全学的な教育支援施策の企画・立案及びFDの推進に関する事項

- (2) 学生による授業評価アンケートの企画・実施、アンケート結果の集計・分析・評価に関する事項
- (3) FDに関連する情報収集及び学内の啓発活動に関する事項
- (4) その他FDに関する重要事項及び必要と認められる事項

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・FD勉強会の実施
- ・学生による授業評価（授業アンケート）の実施、結果の活用
- ・教員相互の授業参観 等

### b 実施方法

- ・FD勉強会の実施

全学に共通するテーマを設定し、対面またはオンラインにて実施している。

各所管では、年1回以上のFD勉強会を実施することとしている。

各所管にてテーマを設定し、対面またはオンラインにて実施している。

- ・学生による授業評価（授業アンケート）の実施、結果の活用

演習等一部の科目を除き全科目を対象に、年2回（各学期）Webで実施している。

回答結果は各所管責任者に共有し、改善に向けて対応している。

また、全教員に授業改善計画の作成を課しており、授業アンケートの結果を踏まえて、自身の授業を振り返る機会を設けている。

- ・教員相互の授業参観

以下を目的として、大学FD委員、学部FD委員及び当該年度に入職した教員が参観することとしている。

- (1) 他の教員の授業を参観することにより、自身の教授法、教材改善のヒントを得ること
  - (2) 相互の参観により、情報交換やアドバイスを受けられること
  - (3) 有効な取り組みを共有し、同一科目（複数クラス展開）の運営やカリキュラムの体系化に役立てること
- 上記以外の専任教員にも参観を促している。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD勉強会の実施

すべての専任教員を対象とした全学の勉強会について、令和6年度は以下の通り実施した。

「アセスメント・テスト分析報告会」（2024年7月24日開催）

「SAの役割及び教育的効果について」（2024年12月4日開催）

なお、公務や体調不良等による欠席を除いて原則全員が参加し、欠席者にはアーカイブ配信を行うことで、内容の共有を図っている。

各所管の勉強会については、以下のようなテーマで実施した。

「実務経験者から見た大学におけるPBL教育の在り方」、「高校生と初習外国語教育」、

「今後の大学院教育のあり方」等

- ・学生による授業評価（授業アンケート）の実施、結果の活用

令和7年度前期は7月、後期は1月に実施予定としている。

令和6年度と同様に、第8週～第13週に授業への要望を受け付け、学期中に反映していくとともに、第14週及び第15週に授業アンケートを実施する予定である。

- ・教員相互の授業参観

令和7年度は6月に実施予定で、グローバル教養学部の専門科目を中心に行う。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

グローバル教養学部での取組はこれからとなるが、令和6年度までと同様に実施していく予定である。

- ・FD勉強会での学びや気づきを授業運営に生かす。
- ・授業アンケートの結果をもとに、授業実施方法等の振り返り及び改善を促す。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・各学期に実施（年2回）。
- ・第8週～第13週（前期：6月～7月上旬／後期：11月中旬～1月初旬）に授業への要望を実施。
- ・第14週及び第15週（前期：7月中旬～下旬／後期：1月中旬～下旬）に授業アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業アンケートの結果は、学内システムによって教員にフィードバックし、これを基に教員は授業改善計画を作成する。授業改善計画は学生にも公開している。
- ・回答結果は各所管責任者に共有し、改善に向けて対応している。
- ・自由記述を除く全体結果は公式サイトにて公開している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的通りに履行すべく、学部・学科を運営しており、順調にその取り組みを行っている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和8年10月 公表予定

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和7年10月末を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和11年に評価機関（大学基準協会）による認証評価を受審する予定。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [ 有 ]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [ 公表後2～3ヶ月以内 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。